

! 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■ 使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。

■ ランプ使用上のご注意

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチを使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■ ランプ交換について △ 注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△ 警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

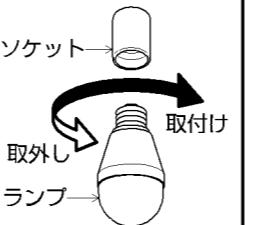
△ 注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 古くなったランプを取外す

3 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行なってください。
落下によるけがの原因になります。



4 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■ 器具のお手入れ △ 注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

保証とアフターサービスについて

保証について

- この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ランプ(LED電球含む)、グローポイント管、電池などの消耗品は対象外です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、別紙「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

KOIZUMI コイズミ 照明器具

型 番 AD37608L・AD37609L・AD37610L・AD37611L

施工 取扱説明書

保存用

お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

! 警 告		
この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。		
! 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	! 分解禁止
! 禁止	<p>ダウントライなどの埋込タイプの器具を設置する場合は、図のように器具と断熱材・防音材との距離をとってください。断熱材・防音材で器具本体の放熱穴などをおおわないでください。→放熱が妨げられ器具および断熱材が過熱する原因になります。</p>	! 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。
! 禁止	<p>器具の直下は高温になっています。ドアや家具、ダンボールなどの可燃物を近づけて使用しないでください。→被照射物の焼損による火災の原因になります。</p>	! 器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込んでください。→感電・故障の原因になります。
! 厳守	<p>器具から断熱材・防音材までの距離を10cm以上離してください。住宅での断熱施工天井では使用できません。</p> <p>この器具は天井埋込専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。→器具の落下によるけがの原因になります。</p>	! 器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。

! 注 意		
この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。		
! 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。→やけどの原因になります。	! ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。
! 水ぬれ禁止	この器具は防水ではありません。湿気の多い場所や屋外では使用できません。→火災・感電の原因になります。	! 表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。→火災・感電の原因になります。
! 禁止	<p>ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。</p> <p>周囲温度5~35°C、湿度45~85%の環境以外では使用しないでください。→火災・感電の原因になります。</p>	! 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→放置すると、火災・感電・故障の原因になります。

■定格

型番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AD37608L・AD37609L	AC100V	0.07A	4.4W	LDA4-H/E/W/2(E26)×1
AD37610L・AD37611L				

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。

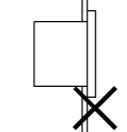
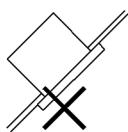
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

このような場所には取付けないでください。

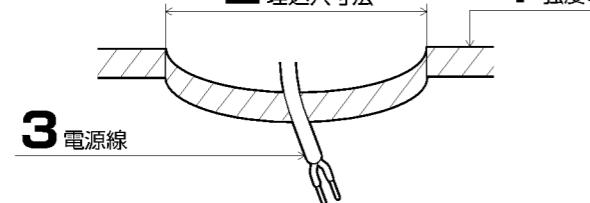
傾斜天井

壁面

禁止



1 強度の確保



2 埋込穴寸法

3 電源線

4 本体

ソケット

板バネ

接続端子

取付金具

5 反射板

6 ランプ

1 施工前の確認

器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する。

2 天井に埋込穴をあける

型番	埋込穴寸法	天井材厚
AD37608L・AD37609L	Φ100±2	1~35mm
AD37610L・AD37611L	Φ125±2	

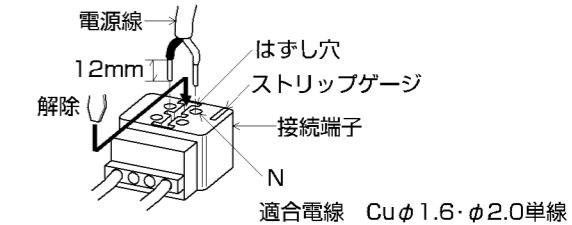
3 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。このとき、電源線は器具から離して施工する。

(接続端子の定格容量は20A)

外す時ははずし穴にマイナスドライバーを差し込み、電源線を抜く。

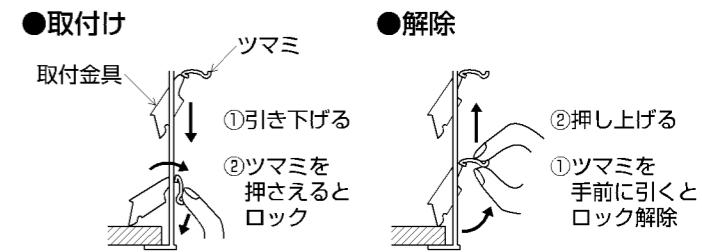
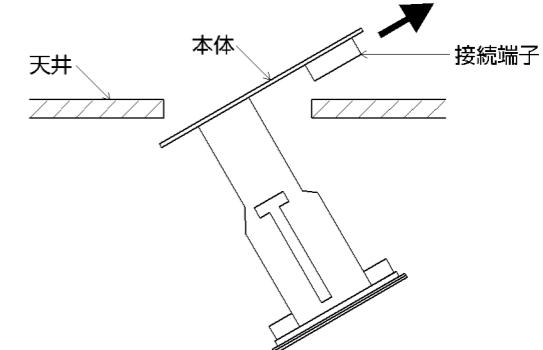
△警告 電源の接続は確実に行ってください。
接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場合、容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。



4 本体を取付ける

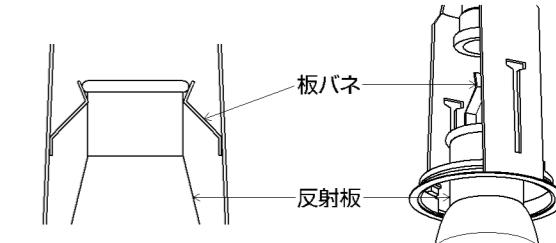
反射板を外してから、本体を接続端子側より傾けた状態で天井穴に挿入し、本体を水平に押し上げ、取付金具で天井に確実に取付ける。

△警告 取付け後、電源線が器具に触れないようにしてください。火災・感電の原因になります。



5 反射板を取付ける

反射板を押し上げて反射板の上部を本体の板バネにはめ込む。外す時は反射板を水平に引き下ろす。



6 ランプを取付ける

7 点灯の確認を行なう

■照射距離について

●照射距離により被照射面が変色・変質するおそれがあります。
被照射面との距離は0.1m以上離してください。

